

3. ○○の考察 (センタリングする)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 5 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○

4. おわりに

10 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○55
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 15 ○○○○○○○○○○○○

注

1) ここでの「生活」とは、○○○の意味で用いる。60
 詳しくは森川 (2019:20) を参照。

20 引用・参考文献

1) 唐崎卓也 (2022) 「日本における Community Supported Agriculture (CSA) の展開」農村生活65
 研究, 65(2): 4-7, doi:10.34585/rlsj.65.2_4

25 2) 森川辰夫 (2019) 『今日に生きる「農家生活リズム」』筑波書房

3) 農林水産省経営局就農・女性課「令和4年度農業委員への女性の参画状況」(令和5年5月1570
 日)

30 <https://www.maff.go.jp/j/keiei/jyosei/attach/pdf/joseiinn.html> (最終閲覧2023年5月25日))

4) Keith Halfacree, Counterurbanisation in post-covid-19 times, Signifier of resurgent75
 interest in rural space across the global North?, Journal of Rural Studies 110, August
 35 2024: 1-8, doi: 10.1016/j.jrurstud.2024.103378

○引用文献の掲載順は、日本語、アルファベット表記, その他の言語表記とする。各々筆頭著者の80
 姓に基づいて,日本語表記では50音順,アルファベット表記ではアルファベット順,その他の言語
 40 の文献は,その国の言語ルール順で示す。

(202*年*月*日 受理) 編集委員会が記入 85

<原稿作成上の注意事項>

45 1. 原稿の体裁

○原稿 (審査用原稿) はパソコン等で作成し, A4用紙片面を用い, 本文・図・表・写真をレイアウトすること。

50 ○原稿のマージンは, 上下 30mm, 左右 20mm とする。

○本文は二段組みで, 一行あたり 22 文字×43 行とする。

○本文の読点は「,」, 句点は「。」とし, いずれも全角とする。

○基本フォントは, 和文フォントは MS 明朝とし, アルファベットと数字は Century とする。

○投稿者の氏名, 所属は, 投稿時および審査途中には記入しないこと。採用が決定し, 最終原稿の提出時に記入すること。

○以上の体裁に従って作成された書式の見本 (MS-Word, PDF) が, 学会ホームページに掲載されているので適宜利用されたい。

2. 図表の作成

○原稿は写真製版であり, 刷り上がり時には A4 サイズから B5 サイズに縮小される。図表の作成あたっては, この縮小率を考慮し, 文字や図, 写真が鮮明に見えるように作成すること。

○図表と本文の間は 1 行空け, 中央揃えとすること。

○図表番号とタイトルは MS ゴシック, 10.5pt とする。図表の注は 9pt。行間隔 (改行幅) を 0.75(3/4) まで詰めてもよい

○図表は 1 段内か, 2 段内に割り付ける。余白が生じて, そこには文章を記さないこと。

3. 謝辞

○謝辞を加える場合には, 本文と補注・文献の間に記入すること。

○謝辞は投稿時には記入せず, スペースのみ確保し, 採用決定後の最終原稿の提出時に記入すること。

4. 注および引用・参考文献

○注および引用・参考文献のフォントサイズは 10pt とする。